

基本情報

時間割コード/Course Code : 311444 (OSIPP)

開講区分(開講学期)/Semester : 秋冬学期

曜日・時間/Day and Period : 木 4 15:10~16:40

開講言語/Language of the Course : 日本語

開講科目名/Course Name (Japanese) : 特殊講義 (経営者と語るリーダーシップ)

教室/Room : 国際公共政策研究科棟 2F 講義シアター

担当教員/Instructor : 高橋 慶吉、地神 亮佑、西嶋 聡、野村 美明

詳細情報

授業サブタイトル : 経営者と語るリーダーシップ

開講言語/ Language of the Course : 日本語

授業形態/Type of Class : 講義科目

学習方法/Learning Methods 聴講・視聴/討論/協同/体験・実践/発表

授業の目的と概要/Course Objective :

阪大 OB らの協力により、企業のトップをゲストに招き、チャンスもリスクも国境を越える時代のなかで、企業人としてのリーダーシップのあり方や奥義を、事業や経営に携わった体験をもとに、語りかけてもらいます。

一方的な講義を避け、質疑を通じた対話が成立するように、学生が企業および教員と協力しながら授業を創ります。随時若手社員との懇談の機会も設けられるので、会社や就職の実際についての質問もできます。

この授業の受講者は、授業をチームで運営することによって、リーダーとしての心と体の動かし方や責任を体得します。授業当日のゲストスピーカー紹介、謝辞、ファシリテーター、マイク回し、写真撮影や機材の操作は、すべて授業を受講する学生が担当します。学生主体の授業です。

授業を受けるのではなく授業をつくる準備をしてきてください。

※ 授業形式は基本的に講義 40 分+質疑応答 30 分です。ゲストスピーカーによっては、1 つまたは 2 つ以上の課題を出して議論する方法やグループディスカッションも取り入れる場合があります。

受講生による毎回のゲストや授業運営へのフィードバック、振り返りによって、主体的に考え失敗から学ぶ機会をできるだけ多く設けます。

(ゲストおよび授業日程)

昨年度は、三井住友海上火災保険株式会社常任顧問 柄澤康喜様、株式会社パソナグループ代表取締役・グループ代表 南部靖之様、第一三共株式会社常勤顧問 中山讓治様、住友林業株式会社代表取締役執行役員副社長 佐藤建様、住友化学株式会社 顧問 西本麗様、伊藤忠商事株式会社名誉理事 小林栄三様、株式会社三井住友銀行専務執行役員 金丸宗男様にご登壇されました。下記 URL の授業日程をご覧ください。 (<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/keieisha.html>)

(受講生の感想)

経営者と食事を共にするような交流の場(意見交換会)は、非常に貴重な機会で、自ら積極的に話しかけないと、得られるべき学びや今後のこの場を超えた連携の可能性を逃してしまうかもしれないと思った。今後はこのような場で積極的にコミュニケーションができるように、前もって相手の興味を引くような話題などを用意し備えていきたい。(国際公共政策研究科 博士前期課程 1年)

Aさんは常にグループで先頭に立って振舞っていて、その姿勢に感心した。例えば、役割分担をするときに自ら手を挙げてファシリテーターを担当した。また、授業運営の前に、こまめにLINEでグループメンバーに進捗の確認をしたり、メンバーのわからないことに対して丁寧に助けたりしていた。また、グループでの議論でも積極的に発言したり、話を振ったりすることで、議論を促進していた。これは共通テキストでの「引き出す」「全体を観る」といったリーダーシップのアクションを実行していると考えられる。(国際公共政策研究科 博士前期課程 1年)

学習目標 / Learning Goals :

- ・本物のビジネスリーダーの話を傾聴し、観察し、共に語らうことによって、リーダーシップについて、本では学べない知識と教訓を身につけることができます。
- ・授業を自ら運営することによって、リーダーとしての心と体の動かし方や責任や信頼について、具体的に理解できます。

履修条件・受講条件 / Requirement / Prerequisite :

(受講理由書) シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書を CLE に提出してください。締切：10月末日。形式：A4用紙一枚以内(Word ポイント 11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。

履修登録をしていないと CLE にアクセスできないので、早めに履修登録をしてください(KOAN での履修登録した翌日に CLE にアクセスできるようになります)。

授業外における学習 :

この授業はグローバルリーダーシップ・プログラムの一部です。<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/>

GLP で開講する科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につけることができます。春夏学期金曜 5 限の「実践グローバルリーダーシップ」はハンチャーや公共政策分野のリーダーから学びます。春夏学期水曜 6 限の「リーダーシップを考える」は、セミナー形式でディスカッションや授業を創ることに重点を置いています。

教科書・教材 / Textbooks :

第 1 回授業で「GLP 共通テキスト」を配布します。

参考図書・参考教材 / Reference :

以下の他は、講義中に指示する。

野村美明ブログ <http://nomurakn.blogspot.jp/> = 過去の授業の教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

ロナルド・A.ハイフェッツ/ 幸田チャーミン 訳『リーダーシップとは何か!』(産能大学出版部, 1996.) = 共通テキストが引用している本です。阪大図書館所蔵(Leadership Without Easy Answers, 1994)

2024 経営者と語るリーダーシップ (OSIPP) シラバス

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ (日本経済新聞出版社 2008 年) (原著 Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008) = 共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロツ・パークス / 中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』(ランダムハウス講談社、2007 年) (原著 Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005)。

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫 2008 年。プログラムデザインやファシリテーションスキルが学べます。

成績評価 / Grading Policy :

提出シート (振り返りシート、自己・相互評価シート) 40%、レポート類 (受講理由書、学期末レポート) 30%、平常点 (役割分担等) 30%

- ・受講理由書最終締め切りは 10 月末日です。
- ・受講理由書と学期末レポート (総合振り返り) の 2 つを提出することによって、受講前後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。
- ・時間厳守や立ち居振る舞いなど、ビジネスパーソンとしてのマナーを身につけられるかも評価の対象です。
※プレゼン資料等は、ゲストスピーカーへ共有することもあります。

出欠席及び受講に関するルール※ :

- ・無断欠席した者は評価の対象としません。無断で遅刻・早退した場合も同様とします。

コメント / Special Note :

(聴講歓迎します)

ゲストにも受講者にもお互いに名前をわかった上での対話をしてもらうために、聴講は事前申込にて受付けます。

申込先 : glp@osipp.osaka-u.ac.jp

特記事項 / Special Note : ※修了認定書は大学院生のみに入力

- ・GLP は大学院高度副プログラムです (大学院生のみ)。要件を満たせば修了認定書が発行されます。
- ・毎授業ノートパソコンを持参してください。

受講生へのメッセージ / Messages to Prospective Students

授業目的に共感し、対話型授業と協働作業に積極的に参加する学生を望みます。本物から学びましょう。

障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、国際公共政策研究科教務係に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。

授業計画 / Class Plan :

第 1 回 オリエンテーション

【内容】アイスブレイキング / 授業日程の説明、パワーポイントによる授業説明、質疑応答。

第 2 回 授業運営方法

【内容】ビジネスメールの基礎、グループ分け、グループ内担当決定、授業担当グループ決定

第 3 回 授業運営スキル研修

【内容】模擬ゲスト回授業、グループ分け、グループ内担当決定、授業担当グループ決定

第 4 回 講師 1 講義 :

2024 経営者と語るリーダーシップ (OSIPP) シラバス

【内容】講師 1 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 5 回 講師 2 講義：

【内容】講師 2 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 6 回 振り返り

【内容】ゲスト講演からの学びや授業運営について振り返りディスカッションを行う

第 7 回 講師 3 講義：

【内容】講師 3 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 8 回 4 講義：

【内容】講師 4 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 9 回 振り返り

【内容】ディスカッション

第 10 回 講師 5 講義：

【内容】講師 5 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 11 回 講師 6 講義：

【内容】講師 6 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 12 回 講師 7 講義：

【内容】講師 7 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 13 回 講師 8 講義：

【内容】講師 8 の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッションを行う。

第 14 回 プレゼン準備

【内容】グループワーク

第 15 回 成果報告会【4 限】・意見交換会【5 限】

【内容】受講生と内容調整する予定

授業担当教員：

高橋 慶吉 法学研究科 t-takaha@law.osaka-u.ac.jp

地神 亮佑 法学研究科 r-jigami@law.osaka-u.ac.jp

西嶋 聡 国際公共政策研究科 glp@osipp.osaka-u.ac.jp

野村 美明 国際公共政策研究科 nomura@osipp.osaka-u.ac.jp